

女性起業家育成支援事業【鹿島市】

個別事業費	2, 997 千円
交付金額	2, 092 千円

地域の実情と課題

【実情】 都市圏への人口流出や少子高齢化の進行などで若者就労人口が減少する中、地域経済を支える民間の企業経営においても女性の活躍が求められる。

【課題】 固定的な性別役割分担の考え方や社会習慣にとらわれることなく、女性が起業するにあたり必要な知識などを相談できるサポート体制が必要である。

目的・目標

多様な働き方の選択肢のひとつである「起業」という働き方を普及促進することで、市内で起業したいと思っている女性の不安を解消し、起業へのモチベーションの向上と起業女性の事業継続による地域活性化を図る。

事業の特徴

● 商工会議所、商工観光課(市)と連携し、事業者が抱える経営課題や創業時等に対するワンストップ相談窓口「かしまビジネスサポートセンター」に新たに女性起業家が相談しやすい相談窓口を整備する。

→ 月2回女性相談日の開設と合わせて一時保育を設置

● 中小企業診断士などの専門家への相談体制を整備

連携団体

● 鹿島商工会議所

● 鹿島市産業部商工観光課

事業の効果

女性相談日の相談件数38件。うち、3人が起業を達成。

経営未経験の相談者に対しても名刺やチラシ作成のアドバイスから経営についてのノウハウまできめ細かな対応をし、相談者に寄り添った伴走型支援を行ったことにより安心して起業することができ、また新たな事業者が増えたことで地域活性化につながった。

今後の課題

支援事業を継続できるよう、事業内容の啓発活動に力を入れ、起業者はもとより事業継承者の相談体制を整え、さらなる相談者の増加を図ることが必要である。

女性起業家育成支援事業

性別など固定的な枠組みにとらわれることなく、また多様な働き方の選択肢のひとつである「起業」という働き方を普及促進することで、市内で起業したいと思っている女性の不安を解消し、起業へのモチベーションの向上と起業女性の事業継続による地域活性化を図る。

●女性が起業するための相談しやすい体制の支援

◎ 無料相談窓口「かしまビジネスサポートセンター」に新たに女性起業家が相談しやすい相談窓口を整備

→ 月2回女性相談日の開設と合わせて一時保育を設置

◎ 相談者に寄り添った伴走型支援の実施

→ 中小企業診断士などの専門家への相談体制を整え、相談者が起業するにあたって直面する様々な課題を一緒に解決することで安心して起業することができるよう、相談者に寄り添った伴走型支援の実施

